

## 新潟商業高校での生活を通じて

新潟商業高校生徒会長

東樹 蓮

私は生徒として新潟商業高校で生活して、本校の長所をいくつか感じました。

本校では総合ビジネス科・情報処理科の商業関連学科と、国際教養科の3つの学科があります。商業関連学科では、商業の学習を通じて社会への理解を深め、将来社会で活躍できる人材を目指しています。国際教養科では、異文化理解や語学研修などを通じて、語学力を育て、国内外で活躍できる人材を目指しています。学科ごとに内容は違いますが、将来を見据えた学習をしています。

また本校は検定を多く取得できることも強みであると思います。検定直前には補習や、対策問題など検定取得への支援が充実しており、多くの生徒が検定を取得し力を伸ばしています。

学習面も充実していますが、本校では学校行事も豊富で、商業高校の特徴を活かしたものや、生徒が学年を越えて取り組めるものがあります。6月の葦原大運動会、9月の葦原祭（文化祭）、12月の球技大会などが挙げられます。大運動会では毎年新潟市陸上競技場で学年の壁を越え協力して各部門優勝を目指し競い合います。葦原祭では、地域企業と連携し校内で実際に販売活動を企画・運営します。これは商業高校ならではの行事で、日々の授業の学んだことを実際に行うことで、授業だけでは難しい実務の力を伸ばすことができます。球技大会はクラスから選手を選び、校内全員で優勝を目指し、競い合います。感染症対策で例年通りにいかないことも多くありますが、生徒は全力で取り組み仲間と協力することで、行事が毎回思い出になるようなものになります。

私達生徒は自らの可能性を最大限活かせるよう、授業や行事に取り組む中で成長しています。しかし、それは決して個人の力だけでなく、学校職員や保護者、地域の皆様の応援があってこそのものだと思います。自分達の学校生活に協力して下さる方への感謝を忘れず、日々精進しています。